



新年のご挨拶



皆様あけましておめでとうございます。

たきの整形外科クリニック院長の滝野哲也です。

この足田町の地で開院させていただいて、早7年経ちました。その間、多くの方々にご来院いただき誠にありがとうございました。開院以来、健康寿命の延伸を目標に、主に骨粗鬆症の治療に力を入れてまいりました。

人間の運動機能を司る筋肉骨格を強くすることは、骨折につながる転倒の予防、ひいては健康寿命の延伸に大きな影響をもたらします。2022年現在、日本の平均健康寿命は男性が72.57歳、女性が75.45歳となっております。

この数字をみて、「あれ、平均寿命より男女とも10歳ほど若い」と思われる方が多いと思います。そうです。健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」すなわち、整形外科的には自分の足で歩いて不自由なく運動、生活できることになります。骨粗鬆症は高血圧や糖尿病のように自覚症状に乏しく、骨折などを体験して初めて重要性がわかる疾患です。骨折＝健康寿命の終了ということも十分ありえます。

私は、地域の皆様が、「あの時、骨粗鬆症の治療をしておけば、骨折しなくてすんだかもしれない」ということにならないよう、骨粗鬆症の早期発見、早期治療の導入を日々心掛けております。つまり、地域の皆様の健康寿命＝平均寿命を目指しています。

当クリニックでは、骨粗鬆症専門の指導資格である「骨粗鬆症マネージャー」を4名有しております。これは、金沢市でも一クリニックとしては多く、常に研修しより質の高い骨粗鬆症治療を実践しております。そして健康寿命の延伸には、運動器リハビリによるリハビリテーションが不可欠で、現在4名の理学療法士が日々皆様の運動機能の改善に日々励んでおります。また、私は金沢大学整形外科では脊椎外科を専攻しており、その専門性を活かして地域の皆様に還元していきたいと思えます。今年も、スタッフ一同、力をあわせて頑張ります。

令和8年1月 たきの整形外科クリニック 院長 滝野哲也



たきの整形外科クリニック